

清掃人権交流会

東京清掃労働組合と清掃・人権交流会は、東洋大学社会学部で交流授業を行なってきました。昨年10月に行なわれた授業の一部抜粋したものをDVDとして制作し、各支部に配布されています。また東京清掃労働組合本部のホームページで「中央執行委員会資料」のなかの3月18日付の第16回中央執行委員会、「共闘部報告別冊」で学生からの感想文等が見ることができます。

この間の一連の経過について清掃・人権交流会の事務局員である、松永本部中執に報告してもらいました。以下が報告です。

「新しい出会い」

～東洋大学での交流授業～

昨年10月、2日から23日 清掃・人権交流会のメンバーまでの毎週金曜日の計4回、文京区にある東洋大学キャンパスの、社会学部・文化交流計画論のゼミの中で、東京清掃労働組合と、

▼きつかけ▲

社団法人東京部落解放研究所が主催する「インド子ども人権スタディツアー」というものがありました。このツアーは、今もインド社会にはびこる「カースト制度」によって厳しい差別を受けているタリットの仲間たちとの文化交流と、学習を目的としたものです。

▼旅の途中で…▲

私自身は、2007年の第三回、2008年の第四回と、続けてこのスタディツアーに参加しました。2008年の第四回のツ

授)と知り合いました。カースト制度の中でタリット(不可触民)と呼ばれる人々は、日常的に様々



▼戸惑いと準備▲

早速、清掃・人権交流会の試みと、10代後半から20歳そこそこの若い世代との、大げさに言えばジェネレーションギャップのよう

なものを意識してしまっ、始めのうちは戸惑いを隠せませんでした。清掃・人権交流会のメン

▼2008年 第一回▲

な差別を受け、清掃労働の仕事もしています。旅の中で金先生とお互いの仕事の話をし、簡単な清掃事業の歴史や、今も職場にある差別の実態などを伝えると、是非、授業に参加して、若い学生たちに話しをしてほしいと誘っていただけまし

▼2009年 第二回▲

第一回るときに得ること計4回の時間をいただき、ができたものと、課題の経過を踏まえて、今回の交流授業は10月の毎週金曜日、

- ① 10月2日 「オリエンテーション」 NHKドキュメント 「年始めごみ収集大作戦」(2007年2月)
- ② 10月9日 テーマ「清掃・リサイクル事業ってどんな仕事？」



① 10月2日 「オリエンテーション」 NHKドキュメント 「年始めごみ収集大作戦」(2007年2月)



② 10月9日 テーマ「清掃・リサイクル事業ってどんな仕事？」



③ 10月16日 テーマ「清掃・リサイクル事業の現場で働いて」



- ④ 10月23日 テーマ「清掃という仕事への差別と実態」
- 清掃職場で女性が働くこと (綱川恵子)
- 環境学習・ふれあい作業とは (大平直樹)
- 清掃職場で働くこと 過去と今の自分 (長妻芳典)



④ 10月23日 テーマ「清掃という仕事への差別と実態」



清掃職場で働くこと 過去と今の自分 (長妻芳典)



清掃職場で働くこと 過去と今の自分 (長妻芳典)



今年も充実した交流授業が出来たと感じています。次回は、対話しながら進め



職場での差別に抗して

(西野 勇)



下請の現状

(葛飾・足立清掃工場差別落書き事件を受けて)

(田辺義人)

▼今後に向けて

第二回の交流授業となった今回は、Labor Nowに映像製作を依頼し、20分ほどのドキュメンタリー映像を残しました。全4回の交流授業からのダイジェスト版で、16日の授業をメインに製作しています。各支部に一枚ずつ配布されていますので、是非、観ていただくことをお勧めします。

始まりは、スタディツアーでの金先生との出会いでした。それがこの二年に、交流授業という形で、東京清掃本部、清掃・人権交流会の多くの仲間が集いました。そして授業を通してたくさん生徒さんたちと交流を持つことができました。

私たちは、普段は日々の仕事の中で、清掃リサイクル事業の重要性を、区民の皆さんに対する周知・啓発という形でそれぞれがこなしていると思います。

一方で、労働組合という組織と運動を通して、今回のような人と人との出会いとつながりが出来たことは、これもまた清掃リサイクル事業で働く私たちにとって大切な糧となりました。すでに、今年の交流授業の打ち合わせも始まりつつあります。

一層充実した交流授業が



(松永公爾)

今後の主な日程

- メーデー学習会
- 4月20日(火) 17:30
- S K プラザ 地下ホール
- 講師 「月刊労働組合」編集長 松上 隆明 氏
- 第81回中央メーデー
- 4月29日(木) 8:00(集合)
- 明治公園
- 代々木公園までデモを行います。
- 第81回日比谷メーデー
- 5月1日(土) 9:00(集合)
- 日比谷野外音楽堂



2009年 昨年 中央メーデー 日比谷メーデー

ひとこと

この号が各支部につく頃は今年度最初の賃金日あたりになっているだろうか。昨年の賃金確定闘争でわが組合の最大の獲得目標であった「現給保障額表からの脱却」を一定達成され、ここ2年の昇給、昇格が反映された賃

金になって少しは「手取り」が増えた方もいるのではないと思われるが、目標は達成されたが、まだ不十分な点もある。▲今号で昨年の賃金闘争総括、今年度の本部要求等を掲載した。今後各支部で昨年の賃金確定の問題点、課題等を出し合い、本部要求を豊富化し、各支部で要求を積み上げていただきたい。▲今年度の

賃金確定闘争が始動した。秋冬中心の闘いのように思われがちだが、昨年は5月に、不当な夏の一時金引下げの提案がされた。▲取り巻く状況は好転していないなか、今年度も厳しい闘いが予想される。職場の切実な要求を皆で議論して、一人一人のものとして要求実現まで闘い抜こう

教宣部長 坂本 浩明